

# 里山を走る・歩く

## 越上山・顔振峠

標高 566m

山行実施日

2015年

10月1日

メンバー

S木(L)、

S崎

久しぶりに芝ちゃんが山に行きたいと誘いに来たが、彼女から帰りが「遅くならないように」とのこと。何かあったかなくと思っていたら、おめでたということだった。それは、彼女に心配を掛けさせられないのは当然だ。前夜は車内で祝いの乾杯をする。

天気が崩れてくる予報だが、朝は天気がよい。芝ちゃんは、膝を痛めているということで、慎重にスタートだ。さすがに、はじめは歩きである。今回は、走れるルートを確認できればと思っていたので、ポイントの写真を撮りながらゆっくりである。もともとと速くなど走れる訳もないのだが、巾着田からは車道もあるので、本当に走るつもりならそちらからグリーンラインが上がってきた方がいいだろう。車道に出たところにトイレがあった。登山道に入って物見山をショートカット。武蔵横手駅から

登ってくれば、啓明荘の脇を通って登山道に出てくる標識を過ぎて、

北向き地蔵に出る。車道を走ると小さなスカリ山入口の札が目についた。車道を走っても行けるが、スカリ山のトラバースルートは近道ということもあり、細い尾根道に入っていく。左下に時折見える車道を確認しながら山頂は踏まずに車道に出るとまもなく十二曲である。1本杉近くの鎌北湖分岐から登山道に入り越上山に向かう。登り口は急で滑りやすい。途中の登山道には岩が顔を出している、気になって偵察をする。越上山の入口に祠があり、そつちを覗いていたら通り過ぎそうになったが、後戻りして山頂に向かう。ピークからは下界が覗けるところがあり、ほっとして食料を補給する。この辺りで芝ちゃんの足はかなり辛くなっていったようだ。あとはゆっくりと楽しみなら散策をする。途中に「ここから東京スカイツリーが…今日は見えるかな?」という看板があった。地

元の方がハイクの疲れをいやしてくれる心使いに暖かいものを感じた。すぐに薬師堂に出る。立派な建物で、トイレも有った。ちよつと行くと車道になり、少しで顔振峠の茶屋に出た。見晴らしがよい。由来の石碑が立派である。見晴台が上がって戻ってくると、狭山市の小学校の生徒が遠足?で登ってきた。私たちの前を通りながら、一人ひとりが「こんにちは」とあいさつをし、「どこから来たの?」と尋ねると気さくの質問に答えてくれた。小学生の姿を後にして、東吾野駅を目指し、阿寺の方向に戻って下山路を探した。地図を見ながら行くと、標識はないのだが、コンクリで下っていく林道があった。これだろうと思いついていくと、草の中に轍を残しながらトラバース気味に下っていく。尾根沿いにも道があるが、沢筋方向に向かう。石がごろごろして歩きづらくなる。しばらくして岩場が現れた。阿寺の岩場である。車道に出たところには「阿寺の岩場」というしつかりした看板が設置してあった。あとは、国道まで下るだけである。里山の風景を楽しみながら、「小さい旅」の案内をして

いるような気分になりつつ、のんびりと東吾野の駅を目指した。帰りは電車に乗って高麗駅へ。里山の楽しさを味わうことができた。(S木記)



山頂にて↓

7:11 日和田山登山口(トイレ・自販有り)~7:28 見晴台~7:44 車道~7:47 店(トイレ・自販有り)~7:49 T字路・登山道~7:57 物見山のショートカット(北向き地蔵へ)~8:03 野菜の無人販売~8:09 車道を渡る~8:14 北向き地蔵・車道~8:30 スカリ山入口・登山道~9:01 車道~9:05 十二曲~9:14 鎌北湖分岐(1本杉付近)・登山道~9:34 越上山入口~9:45 越上山山頂~10:14 「ここから、東京スカイツリーが…今日は見えるかな?」の看板~10:16 薬師堂(トイレ有り)~10:26 車道~10:30 顔振峠茶屋(トイレ有り)~10:40 見晴台~11:10 茶屋~11:23 表示のない下山路・登山道~11:36 阿寺の岩場の看板・車道~12:23 国道299号~東吾野駅~高麗駅~日和田の岩場~日和田山登山口~帰崎